



お浄土を思わせる節回しでおつとめされた

秋季彼岸会修行 ～如来のお慈悲が薫る秋～

秋の彼岸会、
参拝者は250人超え

秋分の日である9月22日を挟んで、9月21日から23日まで、『秋季彼岸会（ひがんえ）』が修行されました。延べ250名以上の門信徒の方々にお参りいただきました。

おつとめは、「讃仏偈（りつぎよく）（律曲）」。神戸別院でもお盆参りでは「讃仏偈」がとめられますが、彼岸の法要では、「律曲」といわれる、独特な節（ふし）が付いた讃仏偈がつとめられます。

法要後のご法話には、和歌山県より清水正宣師にご出講いただきました。清水先生は、3日間様々な資料を持参され、『歎異抄』をテーマに阿弥陀如来のお慈悲の深きところをわかりやすくお取り次ぎされました。

また、秋分の日22日には、神戸別院仏教婦人会の皆様による、おはぎのご接待がございました。

別院の食堂において、前日から仕込みが行われたおはぎは今年も大変美味しく仕上がりました。法要後、おさがりとして参拝者の皆様にふるまわれました。

ご参拝された方々は、「いつも心待ちにしています、ありがとうございます」と、笑顔でおはぎを持ち帰られていました。

お彼岸は何のために

彼岸は、念仏の教えをいただいたものが、いのち終えて生まれていく悟りの世界です。

彼岸へと続くただ一つの道、念仏の道を歩ませていただく願いに出遇う法要が彼岸会（ひがんえ）です。

彼岸の期間とは、太陽が真西に沈む秋分の日、春分の日前後に、阿弥陀さまの「西方浄土（彼岸）」に思いを寄せ、お念仏を申させていただく期間です。また、私たちは、仏法に出遇うことによって、彼岸にいる阿弥陀さまに導かれ、此岸から彼岸へ、真実の世界を目指して生きる人生を歩んでいます。つまり、仏法による人間的な成長や学びをいただきながら人生を歩んでいるのです。それを確認するために設けられた期間が「彼岸」といえるでしょう。

このたびのお彼岸では、今自分があるのは先祖のおかげ、今ここに自分があるのは、先祖の方々の計り知れない「いのち」のつながりのなかにあるということに、改めて気づかさせていただきました。そのように味わいながら、今年も無事にお彼岸を迎えられたことに感謝し、ともどもに報恩のお念仏を申したいと思います。

（河村）

本願寺で伝灯奉告法要、始まる

10月1日、第25代の専如ご門主のお代替わりのご法要、『伝灯奉告法要』が本山本願寺で始まりました。

法要初日は法要開始式が行われ、全国から約2500人の門信徒が集まり、専如ご門主のお代替わりをお祝いしました。法要では、新しく制定された「奉讃伝灯作法」がおつとめされ、僧侶・門信徒がご尊前に手を合わせました。

また、翌2日からは全国各地から約2000人が参拝し、法要は、阿弥陀堂・御影堂の両堂で同時に法要が営まれています。

白洲には休憩施設「本願寺おてらカフェ&マルシェ [AKARI]」が設置されており、多くの参拝者や観光客で賑いをみせています。



法要期間限定でカフェが新設



伝灯奉告法要は36年ぶり

法要中、本山では記念参拝式や仏前結婚式、ご門主ご臨席による初参式や帰敬式など様々な行事が行われます。

また、向かいに位置する龍谷ミュージアムでは、「浄土真宗と本願寺の名宝Ⅰ」の特別展示も行われています。

法要は来年5月31日まで10期（1期8日間）にわたり80座ずつとめられます。ぜひ京都本願寺へご参拝ください。お問い合わせは、京都本願寺まで。

075-371-5181

本願寺神戸別院 仏教壮年会公開講座

仏教になじみがない。どうしてもお寺から足が遠のいてしまう。そのような方への初心者向け公開講座を開講。第1回のご講師は書籍やテレビなどで活躍されています、釈徹宗師。

分かりやすい仏教・浄土真宗の教えを一緒にご聴聞いたしましょう。

◆日時：2017年1月29日(日) 14:00~15:30

◆場所：本願寺神戸別院

◆講師：釈 徹 宗 師

(相愛大学教授)

◆講 題：「三つの心」



神戸別院仏教壮年会 会員募集中!!

- ・月に1度の勉強会
- ・神戸別院の法要に関わる奉仕活動など

※詳しくは神戸別院078-341-5949(代)まで

2016年

夏の思い出だより

7月
兵庫教区少年連盟
サマースクール

7月には、モダン寺子ども会も参加する兵庫県全体のサマースクールがあります。

今年は、7月27日(水)～29日(金)の3日間、姫路市の本徳寺を会所として「第53回兵庫教区少年連盟サマースクール」が開催されました。

兵庫県内のお寺から集まった80名の子どもたちと熊本地震で被災した子ども20名、加えて、東日本大震災で被災した子どもたち3名を招待し、総勢103名の子どもたちが本徳寺に集まりました。



姫路城をバックにハイチーズ!!

今回のサマースクールのテーマは、

「姫路(秘)ストーリーー 不思議発見サマースクール!!」。受付時間になると、大きなリュックサックを背負った子ども達が続々と本徳寺へ集まりました。受付後は本堂で開校式があり、本堂中に響き渡る大きな声で「らいはいのうた」をお勤めしました。

サマースクールの目玉はなんと言っても、2日目の世界遺産姫路城と姫路市民プールです。

午前中は、姫路城でクイズラリーが行われ、初めて姫路城に来た子どもたちもとても楽しそうに姫路城を満喫していました。

午後からはお弁当を食べ終えると、お待ちかねのプールの時間です。姫路城で歩き回って疲れた後も、大はしゃぎでプールへ入って行きました。子どもたちの顔からは夏の日差しに負けない位の眩しい笑顔を見ることができました。

今回のサマースクールは、子ども達にとって忘れることのできない夏休みの思い出となったことと思います。

(安間)

8月
モダン寺子ども会
サマースクール

8月1日(月)から、1泊2日毎年恒例の「モダン寺子ども会サマースクール」を開催しました。

1日目、元気にやってきたたくさんの

お友だちと阿弥陀さまにご挨拶をし、「正信偈」や「らいはいのうた」などのお経の読み方などのお勉強をしました。

就寝前の「ともしびのつどい」では、昼間に自分で作った世界にひとつの素敵な雰囲気夜の本堂で仏さまのお話を聞きました。「仏さまのおかげで出会えたお友だちを大切にしたい」という感想が印象的でした。

2日目は朝から別院前庭でラジオ体操をし、晨朝勤行(おあさじ)に参加しました。朝早くからのお参りでしたが、朝のすがすがしい本堂中に子どもたちの元気なおつとめの声が響いていました。午前中のもものづくりでは、幼稚園児くらいならすっぽり隠れてしまうほどの折り紙に「こんな大きな折り紙見たことない!」とおおはしゃぎ。全身を使って悪戦苦闘しました。最後には、「きりん」や「鳳凰(ほうおう)」ができました。

午後からは船長体験です。神戸港から「オーシャンプリンス号」に乗りこみます。船長室で舵をにぎる姿はまさに本物の船長さん。船内にはなんと温泉の足湯もあり、潮風を感じながらまったりくつろいだり、船内を探検したりと船旅を楽しんでくれたようでした。今回初めて参加するお友だちもいましたが、BBQや花火などが終わる頃にはみんなすっかり仲良くなってい

ご本尊は神戸別院で

お仏壇にある阿弥陀如来や親鸞聖人のお掛軸。浄土真宗本願寺派のご本尊は、本願寺からお迎え致します。

本山本願寺よりお迎えする掛軸には、ご法灯を継承されたご門主様の御印があります。

暖かいご先祖の手が合わされたご本尊に、小さな子どもが手を合わせられますよう。

お求めは、神戸別院まで。各種取り揃えております。

☎078-341-5949(代)



なかなかできない貴重な体験でした

ました。
親元を離れて過ごした二日間、ひとまわり大きく成長してくれたように感じられました。夏の素敵な思い出ができたのではないかと思います。

(佐々木)

法座案内

11月【第王曜仏教講座】

▽5日 和田哲斗師(大阪) 昼1時30分

【仏定例法座】

▽7日 大西宝雲師(六栗) 昼1時30分

【常例法座】

▽15・16日 赤松普宣師(赤穂) 昼1時30分(両日とも)

【土曜講座(第三)】

▽19日 別院職員 昼1時30分

【報恩講法要】

▽26日 28日 岩間行則師(岐阜・ビハラ本願寺施設長) 26日: 昼2時(連夜)・夕4時頃(初夜※連夜に引続き修行)・27日: 朝7時(晨朝)・朝10時(日中)・昼2時(大連夜)・夕4時頃(初夜※連夜に引続き修行)・28日: 朝7時(晨朝)・朝10時(満日中)

12月【第王曜仏教講座】

▽3日 玉木興慈師(大阪・龍谷大学教授) 昼1時30分

【神戸別院仏教壮年会報恩講法要】

▽10日 西田智教師(小野市)

【常例法座】

▽15・16日 寺本峰昭師(神崎) 昼1時30分

【土曜講座(第三)】

▽17日 別院職員 昼1時30分

【除夜会】

▽31日(おとめのみ) 夕4時

お知らせ

平成28年 報恩講法要修行

『花隈モダンタウンフェスティバル』も開催

11月26日(土)・28日(月)

20周年記念法要の熱気、そのままに

11月26日(土)から28日(月)の3日間、親鸞聖人のご命日をご縁までとした、『本願寺神戸別院報恩講法要』が修行されます。

ご講師には、本願寺派布教使で、ビハラ本願寺施設長の岩間行則師をお迎えすることになりました。

法要は、各座上記の日程の通り、例年より日程を変更して行われます。今年度は連夜法要が午後2時から修行されるほか、初夜法要が午後2時の連夜法要が終わり次第(午後4時頃)修行されますのでご注意ください。

今年も神戸別院仏教婦人会の皆様にお斎(お食事)のご接待をいただきます。11月27日の日中法要終了後(正午前後)を予定しております。当日、受付にてお斎券を配布いたします。

また、兵庫教区内(兵庫県・岡山県一部)のお寺からも様々な団体の参拝を予定しており、より多くの方にご参拝いただくため準備を進めております。昨年の20周年記念法要にも引き続き、盛大に報恩講法要をつとめてまいります。

花隈をモダンタウンへ

別院周辺の花隈の地域事業者が中心になり「花隈の歴史を後世に伝え、新たな魅力と活気を創造し若い世代に引き継ぐ」という趣旨をもとに、「花隈モダンタウン協議会」が設立されました。

そして報恩講法要の中日である11月27日(日)に神戸別院にて、『花隈モダンタウンフェスティバル』が同時開催されることとなりました。

当日、別院二階ホールにて①花隈の歴史紹介(写真展示)②現在の花隈マップと映像として、山の手小学校による「子どもが描く花隈マップ」、神戸山手大学による「多文化共生 花隈ハザードマップ」「花隈とその周辺の魅力紹介」また、別院前庭では③花隈地域のお店の出店として、フードコーナーが設置されます。ピザ・パン・焼き芋等のお店が出店される予定です。

神戸新聞の事前取材も予定されており、さらにフェイスブックなどを活用し、より多くの方へ広報する予定です。是非、皆さまお誘い合わせのうえご来院ください。

帰敬式、申込期限迫る

先般ご案内の通り、来年の1月17日(火)の「阪神・淡路大震災物故者総追悼法要」に併せて、帰敬式が執り行われます。帰敬式は、法要の日の朝11時から、神戸別院の本堂において行われます。

帰敬式は、ご門主さまから「法名をいただくこと」で、仏教徒、浄土真宗の門徒として気持ち新たに念仏の道を歩むことを誓う、人生においても度きりの大切な儀式です。煩惱を捨てることのできない迷いの人生に生まれた私が、阿弥陀如来の真実のみ教えに出会い、新たな名前をいただくことで、仏弟子とならせていただきます。

体調や日程の兼ね合いで京都の本願寺まで足を運ぶことが難しい方は、ぜひ神戸別院にて帰敬式を受式ください。所定の申込書にて左記の期限までにお申し込みください。

お申し込み期限

◎内願なし

12月10日(土) 必着

◎内願あり

11月10日(木) 必着

※内願とは、自ら希望する法名を京都の本願寺に申請することです。内願をする場合は、事前に許可が必要のため申込期限が早めに設定されています。なるべく早いお申込みをお待ちしております。